

9 月号

2010(平成22)年
9月27日発行

SCHOOL
JURIDICAL PERSON
OSAKA
SANGYO
UNIVERSITY

学園ニュースレター
「ネオス」 No. 12

発行元：学校法人大阪産業大学
総合企画室 学園広報課
〒574-8530 大阪府大東市
中垣内3丁目1番1号
TEL：072-875-3001
http://www.osaka-sandai.ac.jp

■インタビュー 本山美彦新学長に聞く……02

「師弟共感」のある大学に

■キャリアセンター……06

3人のシューカツ報告
私たち、こうして内々定もらいました!!

■学生責任編集……08

ファッション感覚
産大生は「カジュアル系」他

■中学・高校トピックス……10

■ニュース&トピックス……12

■学事情報……15

■中川晶のキャンパスセラピー・編集後記……16



産大高校ウエイトリフティング部
インターハイ
優勝

C&Jヤーク、62kg級で127kgを
挙げて優勝した白草翔太選手

桐蔭高校女子サッカー部
全日本高校
女子サッカー
選手権大会
ベスト8



弾けた夏



ソーラーカープロジェクト
DREAM CUP
ソーラーカーレース
鈴鹿2010
優勝

表彰式で優勝を喜ぶ大阪産大チーム(中央)

本山美彦新学長に聞く



「師弟共感」のある大学に

本学園が80年続いたことの意味と理由を再認識するところからスタート

さる7月30日、大阪産業大学・同短期大学の学長選挙が実施され、教授会が推薦する3人の候補者の中から、経済学部国際経済学科の本山美彦教授が新学長に選出された。任期は9月27日から2014年9月26日までの4年間。大阪交通短期大学の時代から通算すると、本学第18代の学長となる本山新学長に、2人の学生がインタビューし、大産大に寄せる夢や期待、抱負などを聞いた。

●建学の原点に立ち戻って教学改革を

花田 学長就任おめでとうございます。

本山 実に責任重大です。個人的には自分の好きな勉強に没頭したいのですが、推薦して下さった人たちの期待に応える義務がありますし、何より、学生諸君やすべての教職員の皆さんの、より良い大学づくりという夢に応えなければいけ

ないと思っています。

花田 大阪産業大学をどのような大学にしたいとお考えでしょうか。

本山 日本には、創業100年を超える老舗というのが40万社以上あるんです。アメリカではほぼゼロ、ヨーロッパでも数社、アジアでもありません。単に古い、長く続いているというだけでなく、創業者の経営哲学や経営方針というものが、連綿と受け継がれているのです。たとえ

インタビュー
工学部機械工学科4回生
自治会長 花田良助さん
人間環境学部スポーツ健康学科3回生
チアリーディング部部長 大黒祐美さん
(8月10日、経済学部長室にて)

親の 子 の様子を見る ように

ば、大阪に金剛組という土木建設会社がありますが、ここはあの四天王寺を建設した会社で、その歴史は1500年にもなります。他にも、1000年近い歴史を持つ企業がたくさんあります。私は、日本が世界に伍してやっていく中で、こういう歴史の重み、歴史の力といったものを打ち出していくべきだと思っています。前置きが長くなりましたが、私たちのこの学園にも80年の歴史がある訳で、これも大変なことです。創立が1928年、世界大恐慌の前の年です。この学園が80年もなぜ継続できたのか。その理由、秘密を改めて探り、吟味し、今後も活かしていくことが、まず大切ではないかと、私は思っています。

大黒 学長は、その秘密は何だとお考えなのですか。

本山 とりわけ重要なのが、正門を入ったところにあるライオン像に刻まれた「師弟共感」。私は「師弟共感」という言葉がいちばん好きです。先生と学生が、ともに感じる。すばらしい言葉です。また、建学当時は人力車が活躍していた時代で、そんな時に、鉄道の学校をつくる、鉄道事業に貢献する人材を養成するとい



大黒祐美さん

う大きな挑戦をした。今、この厳しく苦しい時代ですが、私は、学生も教職員も、そうした建学の精神、創業の心を失ってはならないと思います。

●学びがいのある大学とは

本山 今、脱理科系、脱技術系という流れがありますが、それはいつきの流行に過ぎません。本学がそういう目先の流行に引きずられて、文系偏重、純粋理系偏重になるのは自殺行為です。大阪産業大学という、すばらしい名前を大切にしたいですね。このグローバル化時代に、大阪でもなければ、日本でもない、世界の中で、産業に関する教育研究ならこの大学だと言われるようにしたいですね。

大黒 学長選で「学びがいのある大学」という公約を掲げておられましたが、それはどのようなものでしょうか。

本山 まさに「師弟共感」のある大学ですね。知識だけを学ぶのであれば、本やインターネットなどさまざまな方法があります。わざわざ大学で学ぶのは、生身の人間である教員、この先生に会って直接指導を受ける、あの先生に自分の考えを聞いてもらう、そういう体験ができることが重要です。先生方には自分の研究だけでなく、教育についての情熱をもっと持っていただきたいと思います。子どものことを心配して、木に登ってまでその様子を見る親のように、教員は学生の教育に取り組んでほしいと願っています。ゼミの2年間、在学中の4年間だけではなく、卒業後も交流を大切にしたいですね。学びを通して、生涯の心の友、心の師を得られるような大学です。

●溜まり場で意思疎通の訓練

花田 同じく選挙公約に「学生会館建設の早期実現」というのもありました。本学には多くのクラブがあり、合計1000人ほどが活動しています。しかし、部室がないクラブもあります。活動場所に不



花田良助さん

自由する文化系クラブもあります。僕は自治会長として本山学長の公約を心強く感じました。学長の任期内に実現すると期待してもいいのでしょうか。

本山 非常に厳しい問いかけですね。学生会館建設の問題は、いろいろな経緯のあることで、私にも軽々にいつまでにやるというような答えは正直、できません。ただ、学生諸君の「溜まり場」というものは、絶対に必要だと思っています。

大黒 チアリーディング部の部室は溜まり場になるようなところかと言うと、遠くて移動に時間がかかりすぎるので使えません。それで、どこに集まっているかということ、ウエルネス2008の更衣室です。でも、あそこは、「いきいき大東スポーツクラブ」に参加する一般の方も利用されるので、時間の制約を受けます。ほんとうに、学生会館でも何でも、学生が自由に集まれる場が欲しいと思います。

本山 今、学生のコミュニケーション能力の不足が指摘されますが、その最大の理由は私の見るところ、幼稚園から大学まで、同じ学年の同じクラスの人間としか話さないという点です。ツーカーで話を通じる人としか話す機会がないのです。たとえば私のような、あと何年生きられるだろうかという人間と話せと言われると言葉を失ってしまう。年齢も立場も環境も違うもの同士なら、それなりに説明をしないと話が通じないわけですが、そういう訓練ができていないのです。大学の学生の溜まり場というのは、そういう機会を与えてくれる場なんですね。土地を切り売りしてでも、一刻も早く学生会館を建設しなければと思っています。

●本学ならではの図書館づくり

大黒 総合図書館のことにも触れていらっしかったですね。もっと総合図書館の地位と役割を引き上げるべきだと。

本山 今、図書館の改革、充実という、いわゆる電子化の推進が中心です。しかし、私は書物そのものが持つ重厚な雰囲気、それに触発されての勉強というものの価値は変わらないと考えています。もう一つは、図書館の司書の方の存在がどれほど重要かということですね。昔、ケインズの『インドの通貨と金融』という本を読んでいて、ペンションという言葉が出てきたのです。ペンションと言えば、西洋民宿のようなもののことと思っていますから、何でそれが通貨や金融と関係あるんだろうと不思議に思って、その場にいた司書の人に「ペンションって何ですかね」と聞いたのです。すると即座に、それは年金払いのことだと教えてくれた。「あなたの先生からも、同じ質問をされたので調べたんですよ」と笑う。それくらい、司書の人というのは勉強熱心で、物知りなんです。学生だけでなく教員、研究者に対しても、本の専門家としてずいぶん貴重な示唆もできるし、アドバイスもできるんです。

花田 そういう専門家を僕たちは活用できていないということですね。

本山 そうです。図書館はそういう専門家もいる場所であり組織です。その意味で、本学の総合図書館も、もっと充実させ活性化していく必要がある。今は、学生会館がない学生の溜まり場になっている面がありますが、それはやはりおかしいんです。鉄道関係に源流を持つ産業大学としての特長を活かす、本学ならではの図書館の拡充を進めて行きたいです。

大黒 図書館で勉強といえば、今、学生の学力低下の問題が指摘されていますが、どうお考えですか。

本山 大学に入って、数学の基礎がわからないからといって、今さら「チャー



本山学長プロフィール

もとやま・よしひこ 1943年神戸市生まれ。65年京都大学経済学部を卒業、69年同大学大学院経済学研究科修士課程・博士課程修了。甲南大学助教授などを経て、77年京都大学助教授、86年同教授。2000年京都大学大学院経済学研究科長兼学部長。06年京都大学退官。同年、福井県立大学大学院経済・経営学研究科教授に就任。08年から大阪産業大学経済学部教授。京都大学名誉教授。経済学博士。専門は世界経済論。貨幣現象から現代経済社会の倫理的側面を浮き彫りにする研究を続け、ここ数年は、アメリカの巨大軍産複合体、国際的な株式交換やM&A(企業の合併・買収)、さらにアメリカの対日経済圧力などについての研究に取り組んできた。

人生の99%は スランプの連続

ト式」でゼロから勉強しましょうという訳にはいかないでしょう。大学の学習の現場で、学生と似たような経験を持ち、必要な部分を上手に教えることのできるチューターと言われる存在が必要です。ですから、大学院の学生などに手伝ってもらうのはどうかと考えています。それによって、教えるほうも教わるほうも、先ほど言ったコミュニケーション能力を鍛えることもできます。また、正直に言えば、我々大学の教員の教え方が下手だということもあるでしょうから、この際、思い切って、産大附属や桐蔭高校の先生方や、予備校の先生方の支援を受けることも考えたらどうだろうと思います。大学と附属高校の教員の交流、相互に授業・

講義を持ち合うことなども、一つの解決方法になるかも知れませんね。

●就職活動には発想の大転換が必要

花田 もう一つ大学を取り巻く問題、卒業生の就職難については、どうお考えでしょう。

本山 この地域、あるいは特定の地域でないとできない仕事と、世界中、どこでもできる仕事を区別して考えてみるのも、一つの方法でしょう。世界中どこでもできる事業をする企業は、どんどん中国やベトナムといった国々に出て行ってしまっていて、国内の就職口が減っています。為替格差が原因で、そういう国と日本の

賃金水準がまったく違う、中国やベトナムのほうが圧倒的に労働者の賃金水準が安いという現実の前には、どんな企業でも海外に行かざるを得ません。つまり、海外のそういう安い賃金で働く人たちと争っても仕方ないわけでしょう。就職で言えば、海外に出て行かないような企業を探すことです。

大黒 海外に出て行かない企業というと、世界で戦えない企業のようなイメージがあります。

本山 そうではないですね。たとえば、日本食関係の企業は不況知らずで、クサヤの干物なんて海外ではまず誰も食べないから国内市場を相手にするしかないし、国内で作るしかない。そういう視点で、企業を探すのです。福井県では、世界で通用するけれども日本でしか作れないものを作るという企業を育てている。微妙な手先の感覚が要求される旋盤加工などに、オバチャンたちが活躍していますから、女性の有業率が高い。大学としてもそういう開拓をしていく必要がありますが、学生自身が相談会を企画運営するといった自主的な取組をすることも大事でしょうね。ともかく、発想を転換して、チャレンジすることだと思います。

大黒 大学生の中途退学の問題はどうお感じですか。

本山 それは、ある意味で、我々教員に対する拒否反応だということですから、辛い問題です。彼らを引き止めるだけの魅力が我々にない。人間というのは、自分を理解してくれる人のもとに集まるものです。大学のカリキュラムやシステムの問題ではなく、教員個人個人の問題で反省すべきことだと思います。師弟共感が十分には実現できていないのですね。私学の授業料が高いのも問題です。私は、人間が生きていくために必要な公共サービスといいますか、教育、食生活、医療といったものは社会全体で担うべきだと思うのです。大学の授業料などは、本来、無料であるべきで、ドイツやフランスでは現にそうです。大学で学生に学んでも

経営努力で学生や 保護者の負担を 少しでも軽く

らうということは、いずれ社会全体がその恩恵を受けることになるからです。ところが今、日本では社会全体でそういう考え方に逆行することが進んでいます。その中で、我々は少しでも学生や保護者の負担を減らせるような工夫をしなければならぬ。たとえば、公開講座、通信教育、その他の地域連携やさまざまなイベントなど、社会がこの大学に少々のお金なら出してあげましょと、言ってもらえるようなプログラムを開発、実施して、大学の収入に占める授業料の割合を少しでも下げたい。そういうことも考えています。

●自分の意見をしっかり持つ

花田 大産大の学生にどんな印象をお持ちですか。

本山 もっと自分の意見をしっかり持って欲しいというのが正直な感想です。授業で、社会問題についての議論をさせても、新聞、テレビの受け売りを話す学生が多い。世の中の問題に、これが正解だというものはないのですから、もっと自分の感覚や考えを大事にしたい。自分の信念をしっかりとって、同時に他人の信念にも敬意を払い、2人で何かを共同してやらなければならない時は、ある程度の線で妥協点を見出せるような人間になって欲しいですね。

大黒 学生が学生時代に身につけておいたほうが良いということは何でしょう。

本山 読む、書く、話す。これを徹底的にやってください。そして議論して欲しい。学生同士でも教員とでも、口角泡を飛ばすような議論をして欲しい。議論している最中に、自分の間違いに気づくこともあるでしょうが、それでも突っ張って屁理屈をこねて議論を続ける(笑)。そういう中で、考える力も身に付くのです。

花田 ところでご趣味は何でしょう。

本山 一番困る質問ですね(笑)。絵画や書画の展覧会などを見るたびに、自分はなんて無趣味な人間だろうと思います。キザですが、あえて言うなら勉強することですね。経済学の他のいろいろな勉強ですね。たとえば、大学の近くにある野崎観音の鐘の裏に十字架が彫られている。実はこのあたりは日本で一番隠れキリシタンの多かった地域だった。そういうことを調べて、分かることが面白いんです。そして、分かったことを誰かに喋りたくなる。そういうことを書いたブログも毎日、更新しています。

大黒 最後に、本学の学生へのメッセージをお願いします。

本山 人生の99%はスランプの連続だということを、肝に銘じて欲しいと思います。楽しい時期というのは1%しかない(笑)。ですから、先ほどの就職の話ですが、スランプの連続の時に、従業員をクビにしない企業がほんとうにいい企業です。企業訪問した時、若い人がたくさんいるから、いい企業だと見るのは正しいでしょうか。それは年配社員をクビにしているということかも知れない。大企業と中小企業を回ってみて、どちらに年配従業員が多いか、そういう視点も忘れないようにして欲しいですね。スランプをスランプとして認めてくれる社会が望ましいし、個人でも、自分がスランプであることを隠す必要はないのです。スランプに陥ったら、素直に早めにそれを周囲に訴えて欲しいですね。

大黒・花田 ありがとうございます。



3人のシューカツ報告

私たち、こうして内々定もらいました!!

夏休みも終了し、3年生にとっていよいよ本格的な就職活動のシーズンになりました。就職活動は自分を知って、相手(企業)を知ることから始まります。今後、学内でも第3回就職ガイダンス、学部学科ガイダンス、SPI試験対策、一般常識試験対策、OB・OG講演会、個別企業セミナー、グループ面接・ディスカッション講座等の就職関連行事が続きます。今号では、就職が決定した大学4年生・短大2年生の協力を得て、就職活動報告(活動の過程)を右記のようにまとめてみました。今後の就職活動に大いに役立てて下さい。

就職活動中の4年生へ「秋採用」のチャンスを逃すな!!

キャリアセンターに7月1日から8月25日までに届いた求人は473社です。「経営状況回復により、採用したい」や「秋採用を考えている」など、今まで新卒採用を見合わせていた企業から電話やメールで連絡があります。この時期の求人は、企業側「内定辞退者」を意識した採用も含まれています。説明会終了後に面接や筆記試験を行ったり、説明会は開かず書類選考から始めたりする企業もあります。秋採用のチャンスを生かすため今一度、下記の四つのポイントを見直しましょう。

- 履歴書** 自己PR、学生時代に力を入れたこと、志望動機
- 面接での再確認** 服装・身だしなみ、挨拶、マナー、言葉遣い、声の大きさ、自分の意見・考え方
- 業種・職種** 例えば「製造業→商社」「商社→小売業」「小売業→サービス業」「営業職→販売職」「販売職→営業職」「事務職→販売職」
- 勤務地について** 地元→近畿圏→全国

☆2011年3月卒業予定者対象最新求人企業(抜粋)☆

ハンシン建設(株)、(株)松村組、日本電設工業(株)、(株)ニブロン、(株)和気、モリテックスチール(株)、(株)中北製作所、(株)OSGコーポレーション、ミネベア(株)、池田電機(株)、(株)メディコスヒラタ、丸二倉庫(株)、ホシザキ京阪(株)、(株)トミー産業、(株)アルミネ、(株)スミノエ、旭コムテック(株)、タイセイ(株)、(株)ハートフレンド、(株)光洋、コーナン商事(株)、アスト(株)、(株)ヨドバシカメラ、大阪貯蓄信用組合、播州信用金庫、いちよし証券(株)、日本エスリード(株)、(株)グルメ村屋、日本レストランシステム(株)

4年生対象 学内合同企業説明会開催日程

**9月27日(月)、10月8日(金)・22日(金)、
11月12日(金)・26日(金)**

13:30~16:30 16号館前ラウンジ

工学部交通機械工学科4年生 田中 希望さん(男性)

内々定先企業名	西日本旅客鉄道株式会社
特技・資格	危険物取扱者乙種第4類、低圧電気取扱特別教育、ガス溶接技能講習、普通自動車二輪免許、2級自動車整備士(取得見込み)
学生時代に力を入れたこと	プロジェクト活動(旧車のレストア〈復元・再生〉プロジェクト)
就職活動の概要	プレエントリー:71社、エントリー:15社、説明会参加:26社、選考参加:9社、内々定:2社
OB・OG訪問	訪問なし インターンシップ経験 経験なし
他に回った業界・企業	自動車・部品業界、造船業界、建機業界、農機業界、食品業界、運輸業界
西日本旅客鉄道株式会社 内々定までの経緯	
説明会出席 2月15日	プロフェッショナル職(技術職)採用の学内説明会に参加した。
1次選考	最初にエントリーシートとWEBテストによる選考があった。
2次選考(面接) 4月11日	本社にて集団面接・筆記試験・筆記適性検査を受けた。集団面接は、面接官1名、学生5名であった。適性検査は、クレペリン、中学レベルの簡単な数学、時間の問題など。
最終選考(面接) 4月17日	希望勤務地の支社にて面接を受けた。面接は、面接官2名、学生1名であった。また、運転士や整備士など鉄道にたずさわる者は視力などが法規で定められているため健康診断も受けた。
志望動機	子供の頃から乗り物が好きだったので、今の学科に入学した。JRにはディーゼル機関車が多いので、自分が大学で学んだ知識を生かすことができる。また、私はプロジェクト活動で古い車の復元を行っている。JRには蒸気機関車があり、私も蒸気機関車の保存にたずさわりたいと考えている。
企業の採用の特徴	他社よりも時間にきっちりしてる印象を受けた。筆記適性検査でも時間に関する問題が出題された。
就職活動で役立ったもの	両親の金銭面でのサポートはとても助かった。私は奈良に住んでおり、梅田などで行われる説明会や選考会に参加するために必要な1度の交通費が2000円程であった。就職活動を終了する4月末までに交通費で7万円程のお金がかかった。
筆記試験対策	本学でのSPI試験などはすべて受けた。苦手とする部分や大学内での順位などがわかるのでとても役に立った。さらに、SPI対策の本を1冊購入した。
面接試験で多かった質問または、印象に残った質問	10年後あなたははどうなっていたいですか?という質問は良く聞かれた。
成功談・失敗談	すべてのエントリーシートを提出期限前になってから書き始めていたので、速達で送らないと間に合わなくなりお金が無駄になってしまった。さらには、期限までに書けなかったものが6社程あった。
後輩へのアドバイス	就職活動において、情報収集はとても大切です。キャリアセンターやインターネットを積極的に活用するようにしましょう。スケジュール管理も大切です。手帳を使う習慣をつけて、早め早めに行動を開始するようにしましょう。面接前には、質問されるであろう内容の答えをあらかじめ考えておきます。さらに、選考で聞かれた質問はメモを取っておき復習をしましょう。そして、一番大事なのは慣れることです。緊張せず平静を装いましょう。

経営学部流通学科4回生 小幡 真子さん(女性)

内々定先企業名	滋賀中央信用金庫（総合職）		
特技・資格	資格：日本商工会議所簿記検定2級、特技：得た知識や経験を次に活かせる能力		
学生時代に力を入れたこと	資格取得、地元のボランティア活動、祖母の介護など		
就職活動の概要	プレエントリー：50社、エントリー：25社、説明会参加：8社、選考参加：12社、内々定：1社		
OB・OG訪問	訪問なし	他に回った	銀行（都銀・地銀・信金）、保険、
インターンシップ経験	経験なし	業界・企業	官公庁、その他メーカー等
滋賀中央信用金庫 内々定までの経緯			
説明会出席 5月10日（660名限定）⇒時間：約1時間程度、ES配布、ESの内容：趣味・特に入力している事、セールスポイント、志望動機等			
筆記試験 5月25日（400名限定）⇒時間：知的能力診断60分・適性検査20分、ES提出、試験内容：知的能力診断（文章理解力、問題解決力、データ分析力、関係把握力）⇒6/2までにES・筆記試験通過の連絡（メール）			
1次面接 6月7日 面接官：2人（人事）、受験者：5人（男女別）、所要時間：10～15分、質問事項：①志望動機（全員共通）②特技（ランダム）③ESの内容から一つ質問、コメント：集団面接にしては所要時間が短いため簡潔にハキハキと話すことを心がけました。また、時間が短い分深く聞かれることもなく、第一印象と第一印象で7、8割が決まっている印象を受けました。この時点で約130名程度が通過していました。⇒6/9、1次面接通過の連絡（電話）			
2次面接 6月14日 面接官：5人（人事、役員）、受験者：5～6人（男女別）、所要時間：10～15分、質問事項：①滋賀中央信用金庫のイメージ（全員共通）②入庫したとしてお客様に対して挨拶をその場で（全員共通）③お客様、上司との接し方（ランダム）、コメント：1次面接同様時間が短いため簡潔に話すことを心がけました。②の質問のその場に立って一礼の挨拶は想定外だったので緊張しました。全員共通の質問では特に志望動機等、回答がかぶる場合があり、今回も数人がかぶりしました。しかし、そんな時こそ恥じず自信を持って話すことが大切です。わざわざ回答を変える必要はない。この時点で約60名程度が通過していました。⇒6/16、2次面接通過の連絡（電話）			
最終面接 6月24日 面接官：6人（人事、役員、理事長）、受験者：1人、所要時間：10～15分、質問事項：①滋賀中央信用金庫で新たにやり組もうとしている活動を知っているか②持っている資格についての取得理由とその資格で役立ったこと③銀行の収入源について、コメント：私は個人面接が苦手なので一番緊張しました。また、①の質問はホームページに載っている内容でチェックを怠っていたので答えることができなかった。その後、答えることができなかった質問については調べてメールで送りました。この時点で30名程度が通過していました。⇒6/25、内々定の連絡（電話）			
志望動機	自治会の活動をきっかけに地元の活性化や繁栄に貢献し交流を深めたいと思ったから。その中で、地域密着型の取り組みや人との「絆」を大切にされている点に魅力を感じたから。また、私は、人のサポートがしたいのと、取得した資格を活かして金融業界を中心に活動をしていました。		
企業の採用の特徴	採用人数が	就職活動で役立ったもの	本：就職の赤本シリーズ、就職ジャーナル、公務員初級問題集、SPI&テストセンター実践問題集、事務能力検査等、その他：スーツ1着、就職カウンセラー、就職情報サイト。
筆記試験対策	SPIの試験対策なら公務員の問題集も解く価値あり。銀行によっては事務処理能力を診断する所もある。		
面接試験で多かった質問	志望動機、自己PR、学生時代特に力を入れたこと。		
成功談・失敗談	Webで実施される試験が苦手で、問題集で出題形式のコツはつかめても内容の対策まではできなかった。適性検査はその企業が欲している人材に当てはまる様に回答する。最初その事を知らずに回答していた。公務員のSPIに近い問題（例えばデータ分析など）が出ていたので為になる。都銀は上級並の問題。		
後輩へのアドバイス	金融、特に銀行を志望しているなら試験対策はかなり重要です。どうしても試験が苦手な人は試験が選考にない企業を選ぶのも一つの方法です。企業を絞り過ぎず最初は広く企業をみる。あとから探しておいても選考が終わっている場合がほとんど。就職・企業選びの『軸』をしっかり作っておくこと。また、なぜその企業でなければならないのかを明確に。あと、自己分析も早い段階からすることをオススメします。そうする事でES・面接の自己アピールに繋がります。そして、落ち続けても諦めないことが内定に繋がります。場数を踏むうちに必ず「ご縁」のある企業に出会えます。		

短期大学部自動車工学科2回生 佐藤 健太さん(男性)

内々定先企業名	トヨタカローラ大阪株式会社（自動車整備職）		
特技・資格	中古車自動車査定士		
学生時代に力を入れたこと	大学の教育支援センターを利用した資格取得（危険物取扱者、中古車査定士）とアルバイト		
就職活動の概要	プレエントリー：5社、エントリー：5社、説明会参加：9社、選考参加：6社、内々定：1社		
OB・OG 訪問	訪問なし	インターンシップ経験	経験なし
他に回った業界・企業	自動車整備職希望なので同じ業界のスズキ、三菱等		
トヨタカローラ大阪株式会社 内々定までの経緯			
説明会出席 5月10日	参加者：2名（追加募集のため）		
筆記試験 5月22日	参加者：2名		
一般常識試験・専門教科：60分、適性試験：30分			
最終面接 5月22日	面接官：2名、受験生：2名、質問： ①基本は志望動機、自己PR、学生時代に頑張ったこと②人間性をみるための質問（例えば、友達は何人いますか）		
志望動機	入社後、トヨタ検定という独自の制度等、他の企業にない厳しさがあり、結果が求められるため、常に向上心がある会社だと思ったので志望致しました。		
企業の採用の特徴	他社の面接試験では、履歴書に基づく質問ばかりだったが、主に人柄がわかるような質問をされた。		
就職活動で役立ったもの	就職対策本：SPI、スーツ：2着購入、アルバイト先の先輩の就職体験談も参考になった。諦めずに、なんでも真剣にやりきると言う気持ち。		
筆記試験対策	早めからのSPIの勉強		
印象に残った質問	友達は何人いますかと言う質問が印象に残っている。		
成功談・失敗談	成功談：説明会の時にインパクトのある質問をする事で顔を覚えてもらう事ができた。失敗談：道に迷った。なので途中からは30分以上前に着くように行動した。		
後輩へのアドバイス	1年の12月に学内で開催された自動車産業セミナーに体調を崩して参加できなかったことで、就職活動が遅れてしまい焦った。学内で開催される自動車産業セミナーには絶対参加すること。就職活動が始まるまでにひとつでも多く資格をとっておくこと。少しでも役立つのでぜひ資格をとって頑張ってください!!		

キャリア
カウンセラーによる 就職相談

★日時

9月 28(火)～30(木)

10月 3(日)、5(火)～7(木)、10(日)、12(火)～14(木)、17(日)、19(火)～21(木)、24(日)、26(火)～28(木)

11月 4(木)、7(日)、9(火)～11(木)、14(日)、16(火)～18(木)、21(日)、24(水)、25(木)、30(火)

12月 5(日)、7(火)～9(木)、14(火)

いずれも9時30分～17時30分。

★場所 キャリアセンター内

★予約 キャリアセンターまたは電話072-875-1670(学生専用)で。

★対象 2011年3月卒業予定者

★キャリアカウンセラー 吉中、増田、石川、高田、山中



ファッション感覚 キャンパスで調べてみたら 産大生は「カジュアル系」

大阪産業大学の学生のファッションは男女ともカジュアル系を好み、意外におしゃれ——4人の4年生男女学生がキャンパスファッション感覚をアンケート調査した。人間環境学部の情報社会論(山名康弘客員教授)の授業で実習として行ったもの。調査は校庭などで学生104人にアンケート用紙を配り、その場で書き込んでもらう方式。4人は都市環境学科の高橋辰徳君、山口泰弘君と経営学部経営学科の岩崎望さん、森脇南歩さん。調査結果を分析した4人は「産大の男子学生はジャージやスウェット姿が目立ち、全体に“没ファッション”な学生が多いと思っていたのに、ファッションに関心の高い人が多く大変驚いた」と話している。



Q. ファッションに興味がありますか？

■「はい」と答えた人について

・どういったテイスト(系統)の服を着るか？

- 1位=カジュアル 25人
- 2位=その他(ストリート系など) 8人
- 3位=古着 7人

・好きなブランドは？

UNIQLO、TOWN&COUNTRY、DIESEL、BEAMS。UNIQLOが一番多く、安くて機能性のいい物を買う時代背景が透けて見える。

・よくいくお店はどこですか？

BEAMS、UNIQLO、URBENRESEARCH、WEGO

・参考になっている芸能人、俳優、モデルは？

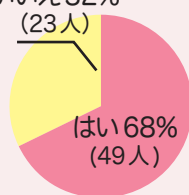
ほとんどの人が空欄だった。少数の人が瑛太、小栗旬、市原隼人、海外セレブなどを参考にしていた。

・1カ月の洋服代は？

1万~2万円と答えた人が多かった。

いいえ 32%

(23人)



男子学生
回答 72人

■「いいえ」と答えた人について

「なぜ興味がないのか？」では空欄、又は分からないという回答が多かった。

・自分の服はどうしていますか？

「自分で買う」が全員だった。

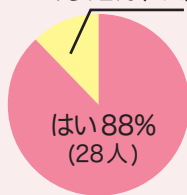
・何にお金を使っているか？

- 1位=趣味
- 2位=ギャンブル
- 3位=交際費

・オシャレな人を見てどう思うか？

「憧れる」と答えた人が多かった。

いいえ 12%(4人)



女子学生
回答 32人

■「はい」と答えた人について

・どういったテイスト(系統)の服を着るか？

- 1位=カジュアル 13人
- 2位=キレイメ系 9人
- 3位=森ガール系 6人

・好きなブランドは？

H&M、LDS、UNIQLO、CHANEL。

女子も価格の安い服を買う傾向があるようだ。

・よくいくお店はどこですか？

H&M、HEP5、OPA、WEGO、

ZARA、FOREVER21

・参考になっている芸能人、俳優、モデルは？

藤井リナ、益若つばさなど、ギャル系のモデルが多かった。

・1カ月の洋服代は？

1万円と答えた人が多く、次に2万~3万円の人が多かった。

■「いいえ」と答えた人について

「あまり気にしない」「面倒くさい」「流行に流されたくない」等の、服に興味の無さそうな人が答える答えが集まった。

・自分の服はどうしていますか？

「自分で買う」が一番多かった。

・何にお金を使っているか？

- 1位=趣味
- 2位=学費

・オシャレな人を見てどう思うか？

「憧れる」「やってみたい」「興味なし」がそれぞれ1人だった。

アンケート調査は男子学生72人、女子学生32人に行った。男子学生では49人(68%)が「ファッションに興味がある」と答え、「興味がない」とした23人(32%)を大きく上回った。男子学生については、ジャージ姿やスウェット姿などが学内で多く見受けられる印象があるだけに、アンケート結果でファッションに興味がある人が大多数を占める結果になり大変驚いた。

ファッションポイントについては空欄が多く、決まったテーマを持っている人は少なかった。好きなブランドも高額なブランドを好む人があまりおらず、UNIQLOを筆頭にファストファッションを好む傾向があるようだ。これは不景気

が少なからず影響しているように思う。男子学生が1カ月にかかる服代は1万~2万円と、興味があるにしては意外と少ないように感じた。しかし、雑誌はsmart等を読み、ファッションについて勉強しているようだ。

女子学生については、ジャージ姿やスウェット姿などは少なく、カジュアル系、ギャル系のファッションがキャンパス内で目立った。アンケートを実施した結果では、ファッションに興味がある人が28人(88%)で「興味がない」と答えた4人(12%)を大幅に上回った。これは、ある程度予想された結果だといえる。好きなブランドは、ハイブランドからファストファッションまで様々で、これといって

このブランドが人気というのとはなかったが、よく購入するお店は、ファストファッションのH&M、古着が売られているWEGOが人気を集めた。男子のUNIQLO1位に対して女子は、UNIQLO支持が少なく、流行に敏感なH&Mに人気が集まった。1カ月の洋服代は1万円と答えた人が最も多かったが、1万円以下がないというのにも驚いた。最大で6万円、少なくとも1万円だった。平均で1万~3万円という結果になった。

よく読むファッション雑誌は、vivi、BLEND、Zipper、Sweetが人気で、女性らしさと、大人っぽさを兼ね備えた系統のファッション雑誌が読まれていることがわかった。

ものづくり教室に 地元小学生が殺到！

クリエイターセンターでは、7月24日(土)、8月28日(土)・29日(日)の3日間、8号館2階MONO工房Iで恒例のものづくり教室を開催し、学生スタッフが子どもたちに「ものづくり」の楽しさを伝えた。

この教室は、毎年オープンキャンパス開催日に合わせて開催。開催案内は、学生スタッフが手分けして市内10小学校にチラ

シを持参し、保護者、児童への配布を依頼。その甲斐あって、3日間で313人の子どもと169人の保護者の参加があった。

子どもたちは、お散歩ワンちゃん、輪ゴム銃、サンドブラスト工芸、スーパースポーツボールづくり、時計づくり、ビーズ工作など7つのコーナーのうち、興味のあるところから順番に体験。次々と各コーナーに挑戦した。完成した作品を誇らしげに眺める表情に、エンジニアを彷彿とさせる風格が漂った。昨年に続いて参加された母親(四条南小)から「夏休みの自由研



輪ゴム銃完成！



サンドブラスト工芸

究の作品作りの参考になり助かってます」、また、今年初めて参加された父親(氷野小)から「私もメーカー勤務。ものづくりに関心のある子どもたちに、このような機会を設けてもらえて有難い」など感謝の言葉を頂いた。(クリエイターセンター学生スタッフ代表=機械工学科2回生・岩崎高大)

EVプロジェクト 四国ラリーで総合V！

四国EVラリー2010愛媛大会が8月21、22日に開催された。電気自動車の航続距離を競うと共に、環境アピール活動を行いながら公道を走って社会への普及活動を行う大会である。本EVプロジェクトは以前、1999年から2004年、そして昨年度EVラリーに参戦し、3年連続優勝などの輝かしい結果を残している。

大会のルールは、あらかじめ指定された複数のチェックポイントの中から、それぞれ自分たちの車両に見合った場所を選び、その往復距離を主な点数として競



順調にスタートを切る本学車両

う。競技時間内で決めたポイントを走りきることも大事だが、同時に車両に蓄えられた電力も上手く調整していかなければならない。

私たちは走行距離と車両の安定性に自信があったため、比較的長い距離をメインに走ることにした。先導車両に続いて交通状況に合わせながら走行し、目的地に到着する。ドライバーだけでなく、それぞれが色々な役割を持つ。走行中にも

電圧・電流などのデータを取って、車両の監視だけでなく、今後の車両開発にも生かすつもりだ。

出発地点へ帰るとすぐに、それぞれが自らの仕事をきちんと理解し、スムーズに充電などの車両整備を行い、次の走行へと備えることができた。

2日間の走行で合計約520キロを走行し、部門優勝だけでなく総合優勝も収めることができた。車両とメンバー共に、特に目立ったトラブルもなく終えることができ、参加したメンバーにとって良い経験となった。来年度も是非参加し、良い結果を得られるよう努力したいと思う。(EVプロジェクト=交通機械工学科1回生・渡邊将統)

日本国際ドラゴンボート 今年もベスト8

7月18日に天満橋・八軒家浜で開催された日本国際ドラゴンボート選手権大会への出場は、今年で3回目を迎えた。プロ



戦い終えて充実した一日でした

ジェクト共育としての活動となった今年は大会当日の待機場所のテントが準備され、十分な休憩で体調管理ができるようになった。さらに練習用のパドルも購入でき、ウェルネス2008で多くの練習が出来たため、昨年以上の成果が期待できた。

しかし、結果は昨年と同じベスト8だった。敗因は、やはり個々の練習量の差があり過ぎたことと、全体での練習不足が考えられた。メンバーが初心者や、経験者であっても練習量の少ない選手で構成されていたことに加え、北港ヨットハーバーでの実践練習が、振替授業などの理由で満足に出来なかった。ドラゴンボートは、搭乗者全員の動きがシンクロする

ことが不可欠なため、実際のボート練習がより重要なことを痛感した。しかし、2回生の経験者が3回生の初心者にアドバイスするなど、年齢の上下に関係なく準備や後片づけを通して交流ができたことは今回の大きな収穫であった。

この大会では、我々競技に出場する学生以外にも、スポーツ健康学科の学生が大会運営のサポートで参加している。この中には、来年はぜひ選手として出場したいと希望する者もあり、さらに広報して多くの人たちと交流の輪を広げていき、産大を代表するチームにしたいと願っている。(ドラゴンボート代表=スポーツ健康学科3回生・河野信太郎)

大産大附属中学・高校

国際科海外研修報告

産大高校国際科2年生55名は、7月8日～23日に、アメリカ・オレゴン州ポートランドで海外研修を行った。中心となるプログラムは、ルイス・アンド・クラーク大学での語学研修。大学の教室を利用して10人程度の少人数クラスで行われた授業に、生徒達は幾分緊張しながらも、日々の研修に取り組んだ。最後の授業は大教室でグループごとにプレゼンテーション。各グループがそれぞれ工夫した

内容で発表に臨んだ。前夜には英語の原稿作成に苦闘する姿も見られたが、本番では各グループがしっかりプレゼンテーションをやり遂げ、全員が修了認定を受けることができた。

他にも、ホームステイ先のホストファミリーとの交流や、ポートランド市内を2日間にわたって案内してくれたポートランド州立大学の学生達との交流を通じて、アメリカ人の生活や考え方に直接触れることができた。また、盲導犬センターでアメリカの福祉政策や寄付の文化について学んだり、ボーイング社の工場見学

高校



語学研修授業風景

やメジャーリーグ観戦により、アメリカの産業・文化を一部ではあるが実見することができた。今回の研修を通じて生徒達の視野が大きく広がり、さらには日本における自分たちの生活環境や社会について考えるきっかけになったのではないと思われる。

中学

焼き板工作(1年生)



1・2年生体験研修、3年生勉強合宿

産大中学校では7月15日～17日の3日間、兵庫県のハチ高原で、1・2年生は体験研修を、3年生は勉強合宿を行った。

1・2年生の体験研修では、オリエンタリングやプロジェクトアドベンチャー(様々な課題をグループで協力しながら達成していくゲーム)、飯ごう炊さんでのカレー作りなどの体験をした。それらの体験を通じて、研修の目的のひとつである「友だち作り」ができたのではないかな。

3年生の勉強合宿では「5教科の学力向上と学習姿勢の確立」を目的に、朝から夜遅くまで学習に取り組んだ。3年生にとっては、友達と寝食を共にして過ごす中学最後の行事。3年間で築いた友情をさらに深めながら、それぞれの目標達成に向けて努力した3日間だった。今回だけに終わらず、今後も受験生としての自覚をしっかりと持ち、志望校合格を目指してなお一層頑張っている。

大学・桐蔭高校見学会

7月6日、産大中学校3年生81名が、大阪産業大学と大阪桐蔭高校を訪問見学した。

6年一貫コースの生徒達は、大産大の様々な施設を見学し説明に聞き入っていた。ソーラーカーのコーナーでは、技術力もさることながら、チーム力の素晴らしさに、大きな感動を覚えていた。また、講堂では学長の話を聞いた。「君達は、なぜ今勉強しているのか」という問いかけに対して、最初は首を傾げていた生徒達も「社会の一員として立派な人となることが大切である」という言葉に大きく頷

いていた。大学生が中心となって運営されているクリエイティブセンターでは、細かいガラス片を絵柄に吹き付けて銀製のペンダント作りを体験した。桐蔭高校では施設や授業の様子を見学した。真剣な眼差しで授業を受ける高校生の様子を見て、勉強の大切さを改めて実感できたようである。



中学

クリエイティブセンターでのものづくり体験

クラブ活動の記録(高校)

■テニス部

○関西ジュニア選手権大会(7/16～24朝センター) 18歳以下男子Sベスト32：仲村元希(2P2)、18歳以下女子S準優勝：岡本佳奈(3E1)、ベスト64：斉藤絢(3E1)、18歳以下女子D準優勝：岡本・斉藤組、16歳以下男子Sベスト8：中村侑平(1P2)、16歳以下女子Sベスト64：中川知子(1U2) ○全国高校総合体育大会(7/30～8/6沖縄県奥武山総合運動場他) 男子団体ベスト32、男子Sベスト16：内田海智(1P2)、同ベスト128：仲村、男子Dベスト32：内田・中村組、女子Sベスト32：岡本、同ベスト128：斉藤、女子Dベスト8：岡本・斉藤組 ○大阪府私立高校総合体育大会(7/25～31、8/14・15MTP北村他) 男子団体：優勝、男子S3位：仲村、男子D優勝：仲村・中村組、女子団体：準優勝 ○全日本ジュニア選手権大会(8/10～17朝センター) 18歳以下女子Sベスト16：岡本、18歳以下女子D準優勝：岡本・斉藤組、16歳以下男子S優勝：内田、同ベスト16：中村、16歳以下男子D3位：内田・他校生組 ○大阪高校総合体育大会(8/18～20 STG舞洲、MTP北村) 男子Sベスト16：中村、

同ベスト32：佐々木愛士(2A5)、守澤啓佑(2U6)、福本優耶(2P1)、吉岡建輝(2P1)、仲村、松川原一紀(1P1)、男子D3位：仲村・中村組、同ベスト16：守澤・良永匡駿(2P2)組、女子Sベスト32：中川、女子Dベスト8：貝原沙也香(2E1)・幾野ちなつ(2E2)組 ※男子Sの守澤、仲村、中村、男子Dの仲村・中村組、女子Dの貝原・幾野組が近畿高校大会(和歌山県開催)に出場決定

■自転車競技部

○近畿高校大会(トラック・レースの部、6/11～13和歌山競輪場) インディヴィデュアル・パーシュート(3km)2位：松田智史(3U3)、ポイントレース(24km)5位：穂積昂祐(3A5)、スクラッチ(8km)6位：野久保良一(3U5)、チーム・スプリント2位 ※インターハイ出場決定 ○全国高校総合体育大会(7/28～8/1沖縄県名護市・ロード、北中城町・トラック)入賞なし

■演劇部

○大阪高校演劇祭(High School Play Festival) 出場(7/20シアトリカル應典院) 題名：「と」 作者：福見直香

大阪桐蔭中学・高校

ロケット研究部 フランスのロケット 打ち上げ大会に参加

中学・高校



右から生賀君、南之園君(ロケット大会スタッフと作業場にて)

桐蔭中学・高校ロケット研究部は、チーム関西ロケットクラブの小型実験ロケット「S-1A」に搭載する模擬衛星「Toin-Sat」を(株)創機システムズの支援を受け製作し、生徒2名(中3生賀伶弥君、中2南之園雄太君)がフランスでのロケット打ち上げ大会に参加した。現地でも夜遅

くまで作業を行い、ロケットと模擬衛星の最終検査を8月26日深夜にクリア。27日の打ち上げ当日を迎えたが、強風による天候不順のため、あえなく打ち上げは中止に。ロケットと模擬衛星は日本に持ち帰ることになったが、生徒たちには将来につながる貴重な体験となった。

全国高校女子サッカー 初の8強

高校

1回戦の磐田東高戦にて



桐蔭高校女子サッカー部は、7月24日

から静岡県磐田市で開催された全日本高校女子サッカー選手権大会に出場し、準々決勝で3連覇を狙う常盤木学園(宮城)に延長の末敗れたものの、前回大会を上回るベスト8進出を果たした。3年ぶり2度目の全国大会に大阪から多くの応援が駆けつけ声援を送る中、選手たちはよく健闘した。1回戦の地元磐田東(静岡)、2回戦の修徳(東京)をともに1対0で破り、常盤木にも全力で挑んだが、0対1で一步届かなかった。

全日本吹奏楽コンクール 2年連続4回目の出場!

高校



桐蔭高校吹奏楽部は、8月29日に京都公会館で開催された第60回関西吹奏楽コンクールに出場し、金賞受賞と関西代表として2年連続4回目の全日本吹奏楽コンクールへの出場を決めた。

コンクールには、関西各県から22校が出演。金賞に7校、銀賞に15校が輝き、金賞のうち3校が全日本コンクールへの出場権を獲得した。他の関西代表として、大阪府の明浄学院高校と奈良県の天理高校が選ばれた。なお、3年連続本選出場

の大阪府立淀川工科高校は規定により参加できず。

全日本吹奏楽コンクールは、10月31日に東京・普門館で開催される。初の金賞に輝いた昨年に続く2年連続金賞受賞に挑む。

韓国・温谷中学校と 国際交流

桐蔭中学校では8月19日、韓国・温谷中学校「大韓民国青少年日本文化体験団」の訪問を受けた。一行は1年生～3年生45名。本校中学3年生ES5組の生徒36名が迎えた。温谷中学の生徒が学んできた日本語に、英語と身振り手振りを交え、賑やかな交流会が行われた。短時間の交流だったが、全員で記念写真を撮った後、一行のバスが出発する時には別れを惜しんだ。

中学



クラブ活動の記録(高校)

■卓球部

○第64回近畿高等学校卓球選手権大会(7/26～28 グリーンアリーナ神戸)▽学校対抗の部：第3位(2回戦3-0畝傍、3回戦3-0近江、準々決勝3-1龍野、準決勝1-3東山)▽ダブルスの部・ベスト8：山内-奥山組▽シングルの部・2位：山上、ベスト8：山内○第79回全国高等学校卓球選手権大会(8/6～12沖縄・宜野湾市立体育館・沖縄コンベンションセンター)▽学校対抗の部：1回戦3-0城南(徳島)、2回戦3-2出雲北陵(島根)、3回戦0-3野田学園(山口)▽ダブルスの部・1回戦：山内-奥山3-2小野-伊藤(福島・帝京安積)、2回戦：山内-奥山1-3鈴木-堀(岐阜・富田)▽シングルの部・1回戦：山内3-0小野沢(群馬・樹徳)、奥山0-3奥田(愛知・杜若)、2回戦：山内3-1孟(静岡・島田樟誠)、3回戦：山内2-3高橋(岩手・専大北上)○平成22年度大阪高等学校新人卓球大会(8/17～19大浜体育館、四條畷市立総合体育館)▽学校対抗の部・準優勝(メンバー：奥山・高田・福島・政本・楨・吉元・長沼・仲寛)▽ダブルスの部・準優勝：奥山・高田▽シングルの部・3位：奥山※以上の結果、シングルの奥山、高田、政本、長沼とダブルスの奥山・高田組、福島-政本組が近畿高校新人大会への出場が決まった。○平成22年度第57回大阪私学総合体育大会(卓球競技の部)(8/29大阪市立千島体育館)▽学校対抗の部・優勝(メンバー：奥山・高田・福島・政本・楨・吉元・長沼・仲寛)

■日本拳法部

○第55回全国高校日本拳法選手権大会(7/28～29岡山県立武道館)▽男子個人・準優勝：榊原亮 準々決勝2-1森岡(関大一高)、準決勝0-0(延長1本勝ち)石田(初芝立命館高)、決勝0-2谷(愛知・桜丘高)▽女子団体・3位 準々決勝2-0東京(国士館高)、準決勝0-3(関大一高)

○第65回大阪高等学校総合体育大会(8/28なみはやドーム)▽男子団体・3位▽女子団体・優勝

優勝車両とスタッフとの記念写真



●プロジェクト共育のソーラーカープロジェクト「OSU大阪産業大学」は、三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催された国際自動車連盟公認の「DREAM CUP ソーラーカーレース鈴鹿2010」に出場し、110周で2年連続5度目の総合優勝に輝いた。

7月31日の第1ヒートの4時間は、炎天下の中、13時に開始された。OSUは、4番グリッドからのスタート。1周5.8kmのコースを4分前後で周回。OSUは、第1ドライバーが機械工学科2回生の三浦愛さん、第2ドライバーが兄の三浦純さん。スタート直後から、芦屋大TIGAがトップ、2番手にOSU、3番手にオランダの大学生チームのNuonなどが続き、周回を重ねる。2時間が過ぎ三浦愛さんから三浦純さんにドライバーチェンジ。終盤に差し掛かってトッ

2年連続5度目の総合優勝

DREAM CUP ソーラーカーレース鈴鹿2010



プは依然として芦屋大学TIGA。OSUが2番手につけたまま55周で第1ヒートが終了した。その差は46秒345。

8月1日の第2ヒートも日差しが強く灼熱の中のレースとなった。13時にスタートが切られ、1周4分前後で周回を重ねる。TIGAが先頭でOSUが後に続くといった形でレースは進んでいたが、TIGAが88週目に周回

遅れの車と追突事故を起こし、OSUが首位に立った。OSUはそのまま逃げ切り、110週の大会記録で総合優勝を果たした。

ドライバーの三浦愛さんは「昨年の優勝よりもうれしい。来年も兄妹で優勝したい」と喜びを噛み締めていた。「世界最速のレーサーになるのが夢」という三浦愛さんの活躍に今後も注目が集まる。

スポーツ健康学科と大阪桐蔭中高が**出展**

サイエンス・フェスタ

●8月21日(土)・22日(日)に梅田ハービスホールで開催された青少年のための科学の祭典「サイエンス・フェスタ」に、スポーツ健康学科が「骨の強さとスピードを測ってみよう!」をテーマに出展した。

①光を見て反応するまでの時間測定
②超音波で骨密度測定
③真空の世界を観察しよう!



超音波で骨密度測定

測定は「超音波で踵の骨を測る」「ジャンプ力を測る」「光を見て反応するまでの時間を測る」の3種類。その結果をもとに「骨を丈夫にする方法」「速く反応する方法」「高くジャンプするための方法」などを学生たちが丁寧にアドバイスした。

今回のフェスタのメインテーマは「私達の健康」。テーマに相応しい内容をとスポーツ健康学科内で慎重に検討し、出展内容を固めた。両日は、学生9名と教員3名の総勢12名が約500名の参加者に丁寧に対応。2日間で2万5000人もの入場者で溢れかえった会場の中で、一際目立つ存在となった。

また、同フェスタには、大阪桐蔭中学・高校も「空気のない世界を観察しよう!」をテーマに出展。真空の世界でおこる不思議な世界を、身のまわりにあるもので実験し、参加者に分かりやすく伝えた。

垂直跳びに挑戦する女子高生

ひらめき☆ときめきサイエンスが**開催された!**

●産業研究所が日本学術振興会のひらめき☆ときめきサイエンスに応募し選定された「環境にやさしいまちづくり」プログラムが8月8日(日)、16号館で開催され、小・中学生32人と引率の保護者が参加した。

この事業は、大学での研究成果を一般にも知らせることが目的の科学研究費補助事業。特に小・中学生に理科の面白さを伝え、理科離れを防ぐことに重点を置かれたもの。

当日は、9時から生活環境学科の若井郁次郎教授による講義「21世紀の環境都市の姿」と、10時30分から17時まで



真剣に模型を作る子どもと見守る学生

実習「環境にやさしいまちづくり」が行われた。実習では、子どもたちが考えたやさしいまちの模型を親や教職員、学生の協力を得ながら作製した。その後、アンケートを記入し、未来博士号の授与を受け解散となった。アンケートの「科学に興味をわきましたか」との質問には、「非常に」「少し」を合わせると76%の参加者から「興味をわいた」との回答があった。

産大高校の白草翔太選手が インターハイ重量挙げで1年生V！

●沖縄県八重瀬町で8月8日に開催された全国高校総合体育大会の重量挙げ62^{kg}級に出場した産大高校ウエイトリフティング部の白草翔太選手(スポーツコース1年)が、スナッチは103^{kg}で体重差の2位に終わったものの、C&ジャークで自己記録タイの127^{kg}を挙げる勝負強さを発揮し、C&ジャークとトータルで、昭和38年以来の高校1年生での優勝者となった。

白草選手は試合当日が16歳の誕生日。優勝が自身への最高のプレゼントとなり「とにかくうれしい。目標はインターハイで3連覇したい」と記録挑戦への意欲を語った。

ウエイトリフティング部のインターハイへの出場は今年で41年連続となった。これまでオリンピック選手など数多くの優秀な選手を輩出してきた伝統あるクラブに、また一つ輝かしい歴史が加わった。大会開催中には、長年にわたりウエイトリフティン

○インターハイの結果
団体:10位/130校(得点27点)
個人:

区 分	選 手	スナッチ	C&ジャーク	トータル
62 ^{kg} 級	白草翔太(1P1)	103 ^{kg} (2位)	127 ^{kg} (1位)	230 ^{kg} (1位)
69 ^{kg} 級	石堂謙登(3U6)	93 ^{kg} (19位)	118 ^{kg} (15位)	211 ^{kg} (16位)
+105 ^{kg} 級	森本啓太(3E1)	90 ^{kg} (12位)	116 ^{kg} (8位)	206 ^{kg} (8位)

グ部を指導し優秀な成果を収めた監督の藤田善久教諭に、全国高校体育連盟より「優秀指導者賞」が贈られた。

この結果、10月2～4日に千葉県で開催さ



優勝した白草翔太選手(中央)

れる国民体育大会へ62^{kg}級の白草選手と69^{kg}級の石堂選手の出場が決定。また、藤田監督も大阪府代表選手団監督を務める。

二輪車安全運転全国大会で優勝！

●交通機械工学科2回生の川口晋史さんが、7月31日(土)・8月1日(日)に鈴鹿サーキットで開催された第43回二輪車安全運転全国大会の高校生等クラス(20歳未満)で、995点(減点5点)の最高得点を挙げる見事な優勝を果たし、文部科学大臣賞を受賞した。

この大会は、二輪車運転者の安全運転技能と交通マナーの向上を図ることにより、交通事故を防止しようとするもので、今年で43回目。川口さんは大阪府チームの一員として、団体3位入賞にも大きく貢献した。



大阪府チームの記念写真・前列中央が川口さん

東大阪市基本計画イラスト版作成に 創作文学研究部が協力

●本学創作文学研究部など4大学の学生が、東大阪市からの依頼を受けて「後期基本計画イラスト版」の作成に協力した。

このイラスト版は、東大阪市が3月に策定した「第2次総合計画後期基本計画」が180ページにもわたるため、次代を担う若年層に手軽に計画を知ってもらい、市役所を身近に感じてもらうと作ったもの。市のマスコットキャラクター「トライくん」の案内で東大阪市のまちづくりを学んでいくストーリーとなっており、創作文学研究部の中澤一喜さん(経営3回)、緒方一馬さん(経営2回)、西垣俊希さん(経営2回)の3名が表紙・裏表紙を担当した。作成部数は5万部で、市立中学、高校で行われる出前授業や、大学祭などで



開催される市長と大学生との意見交換会などで配布される。その他の協力大学は、大阪経済法科大、大阪商業大、東大阪大の漫画研究会などに所属する学生たち。

中学生サマーセミナー開催

●大学コンソーシアム大阪などが主催する「大阪中学生サマーセミナー」が開催され、本学内でも8月6日(金)、7日(土)に「未来の車に乗ってみよう！作ってみよう！」「マイコンって何？マイコンで模型自動車を操ろう！」の2講座を開講した。

1日目は、36名の府内中学生が参加。実際に代替エネルギーで走る自動車模型(ソーラーミニ四駆)を作製し、ものづくりの楽し

さ、近未来の環境技術を体験した。その後、ソーラーカーやオキシライドカーなどを見学し、環境車



オキシライドカーの運転席を体験する参加者

両の特徴を学んだ。

2日目の参加者は32名。ロボットシステム制御用コンピュータの簡単例であるマイコンを主な教材として、模型自動車を走行させ、センサー入力、モーター出力やその操作方法を学習し、システム制御を体験した。参加者は入力等には慣れていたものの、マイコンでの様々な作業は初めてのようで、指導員に対しても多くの質問が飛んだ。

クラブ活動の記録(大学)

★体育系クラブ★

■アーチェリー部

○国体鳥取県二次選考会(7/11倉吉・農業高校G)リカーブ女子予選通過70m①219点・②243点：中村みほ(経営4回)

■剣道部

○大阪学生新人大会(6/20大浜体育館)男子個人ベスト16：田野上一也(都市1回)、女子個人ベスト8：河野志保(スポ健2回)、同ベスト16：安藤美穂(スポ健2回)・水森早紀(文化1回)、男子団体2回戦敗退：1回戦5-0大商大・2回戦1-3追手大

■硬式庭球部

○毎日オープン選手権大会(5/22〜29靱センター)女子Sベスト8：鈴木麻友(文化1回)・ベスト16：柳瀬洋子(流通2回)○関西学生選手権(6/26〜7/4各大学コート)女子S：榎田舞(スポ健2回)・柳瀬洋子・早瀬楓(文化1回)、同D：榎田・鈴木組=以上3名と1組が本戦出場権獲得。男子S4回戦敗退：渋谷真宏(文化4回)・北村駿(経済2回)、同D4回戦敗退：渋谷・櫻井(京教大)組○ダンロップ東海中日選手権大会(7/12〜18東山公園センター)女子S(予選準優勝)：鈴木、同D(予選優勝)本戦ベスト8：鈴木・貝塚(園田女大)組

■ゴルフ部

○関西学生6月度月例杯(6/29千刈CC)男子8位：81松田聖也(経済2回)・11位タイ：83杉本晃行(経済3回)・83小西祥平(経済1回)・35位タイ：102石中知人(スポ健2回)、女子1位：79田中蘭子(スポ健2回)=月例大会出場権獲得○関西学生選手権予選(7/5三木GC)7位タイ76松田好司(経済1回)・11位タイ77林貴映(経済4回)・77杉本晃行・23位タイ79松田聖也・29位タイ81福岡高啓(流通4回)=以上5人が本戦出場決定○関西学生女子選手権予選(7/6三木GC)11位タイ74小猿裕子(スポ健2回)・26位タイ82田中蘭子=以上2人が本戦出場決定。

■サッカー部

○関西学生選手権大会Iリーグ(前期)(4/29〜7/5大産大生駒第9他)Bブロック9位：2勝6敗(勝点6)Cブロック7位：2勝4敗2分(勝点8)

■少林寺拳法部

○関西学生大会(6/27大芸大)男子初段の部5位：西嶋梓(スポ健2回)・前田康介(交機2回)組、女子二段以上の部4位：鳥越景子(スポ健3回)・上野

美咲(スポ健1回)組、女子単独の部3位：姜婷(経営1回)○大阪府民体育大会(7/18大阪市中央体育館)一般男子四段2位：田淵貴寛(環境4回)・3位：矢野陽祐(経済3回)・田淵雅敏(スポ健1回)組、一般男子三段：田中俊輔(経営3回)・江口祐輔(機械3回)組・森田賢吾(交機4回)・真鍋佑輔(経営3回)組、一般男子初段：井本達也(機械1回)・天野雄貴(交機2回)組、一般男子段外2位：山本朋幸(経済1回)・村岡和哉(文化1回)組・3位：舟川涼平(経営1回)・大角佳(経済1回)組、一般男子単独有段：松本尚也(環境2回)、一般女子三段以上3位：赤木優美(スポ健3回)・貫代阿友美(経済3回)組、一般女子二段3位：鳥越・上野組・6位：西嶋・大本雅子(流通1回)組=以上の全学生は本戦進出が決定。

■バスケットボール部

○西日本女子学生大会(5/31〜6/1大阪府立体育館他)1回戦敗退：45〜146北陸学院大

■陸上競技部

○西日本学生競技大会(7/2〜4博多の森陸上競技場)やり投げ：3位67m25村田英俊(経営4回)

■準硬式野球部

○西都六大学新人戦(6/19〜7/4各大学G)3位：0〜10(5回コールド)桃院大・9〜8大手前

★文化会クラブ★

■軽音楽部

○摂南大・神戸親和女子大学と共に前期ジョイントコンサート開催(7/11神戸キングクロス)

■吹奏楽部

○大東七つ星祭(7/7住道駅前広場)【演奏曲目】1部「勇気100%」・「ちびまる子ちゃんメドレー」・「サタデーナイト」・「ルパン三世(ロックバージョン)」・「見上げてごらん夜の星を」以上全5曲を演奏。

■鉄道研究部

○公開運転会 in 野崎商店街(6/27野崎商店街毎弘ビル107)公開鉄道模型(ジオラマ)展示及び運転会を実施・来場者数46人

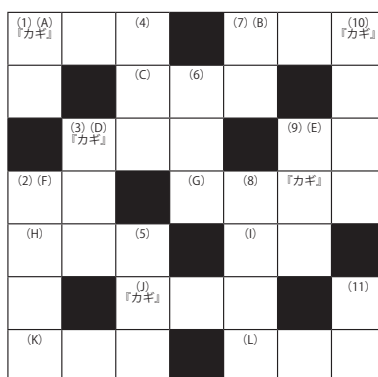
■ユースホステルクラブ

○6大学合同新入生歓迎会(4/25大阪城公園)○全阪ホステリング(5/29〜30大阪国際ユースホステル)○前期交換会(6/26〜27近江希望が丘野外活動センター)

クロスワードパズル

QUOカードが
当たる!

縦のヒントと横のヒントを参考に空白のマスにひらがなを入れ、クロスワードを完成させましょう。「カギ」の5文字で、言葉を作ってください。正解者には、抽選で50名に景品(QUOカード)を用意しています。応募資格は、大阪産業大学(大学院含む)、同短期大学の学生および大阪産業大学附属中学・高等学校、大阪桐蔭中学・高等学校の生徒に限ります。解けた方は、大学・短大は、本館1階の学生部、4号館2階の工学部事務室、3号館1階の短大事務室など学内10カ所に、産大中・高と桐蔭中・高は、事務室に設置しているクロスワードパズル投函箱に入れてください。発表は、景品発送をもって代えさせていただきます。応募方法は、コピーをとるか、メモ用紙に解答と学籍番号(中・高は学年とクラス)と氏名を明記して投函してください。締め切りは、2010年10月15日(金)まで(1人1応募に限ります)。前回のクロスワードパズルには291人の応募があり、厳正な抽選の結果、50名様にQUOカードをお送りしました。ご応募ありがとうございました。



縦のヒント

1. ダルマ○○。トックリ○○。ダイオウ○○。
2. 素焼の素朴な楽器。○○○○。
3. 寒くなったので布団に○○○を敷いた。
4. 競技「つなひき」。英語では「タッグ・オブ・○○○」
5. 湯もみして入浴する時間湯というシステムで有名な温泉。○○○温泉。
6. 「○○○」と「善哉」の違いが分からない。
7. 「○○○」降って地固まる」
8. 人の代わりになんらかの作業を自動的に行う機械。○○○○。
9. 本。○○○。
10. 「香り○○○○、味シメジ」
11. 山部赤人「田子の浦にうち出でてみれば白妙の富士の高嶺に○○○は降りつつ」

横のヒント

- A. テレポーテーション。瞬間○○○。
- B. 天使や○○○。
- C. 赤ちゃんの○○○をかえる。
- D. 北海道の十勝川温泉では、世界でも珍しい植物性○○○温泉を堪能できます。
- E. 北海道の十勝川温泉では、温泉水を飲んだ○○○を新名物にしようと試みています。
- F. 赤・橙・○○・緑・青・藍・紫
- G. ポテト○○○○。カニクリーム○○○○。
- H. 「○○○は糾える縄の如し」
- I. 一人称を○○○から俺へかえる。
- J. 国際原子力機関(IAEA)がウラン濃縮施設への○○○を実施する。
- K. マカデミア○○○。カシュー○○○。
- L. 「青息○○○」

答え



学籍番号
(学年・クラス)

氏名

第45回「阪駒祭」

祭を制する者は 自然を制す

テーマは

祭をするにあたって「エコ推進プロジェクト」さんをはじめとした
環境改善を目的としたプロジェクト及びサークルの協力もあり、

毎年ゴミの分別や処分方法まで細かく対処していただき

今年は大学祭実行委員会としてもさらに協力していこう！という考えでこのテーマに至った。

ちなみに、パンフレットも自然をモチーフにしたデザインとなっている。



GIRL NEXT DOOR

大阪産業大学の大学祭、第45回「阪駒祭」は10月29～31日までの間開催される。

初日の29日(金)は、10時から開会式が行われ、
それに続き吹奏楽部による演奏で大学祭は幕を開ける。

また「演武祭」では、武道系クラブによる型や模擬演武など毎年迫力ある演武を披露してくれる。

「学生プロレス」では大阪学院大プロレス研究会によるこれもまた迫力あるパフォーマンスで

毎年小さな子供が楽しめる内容から本格的な試合まで見せてくれる。

そしてその日最後には「無料ライブ」で「BES」「強」「KID-RYO」が登場。

30日(土)は、学健保によるイベント、奈良を拠点として活動している

大和乃侍・瓏連者(ろうれんじゃ)による「侍・忍者ショー」が行われる。

侍・忍者ショーでは、人気テレビ番組「暴れん坊将軍」などに出演した方々が

実際に目の前で殺陣(たて)を披露し、参加型のイベントも用意されている。

またシアターリーディングによる演技、大学祭実行委員会2回生による2回生企画、文化会本部によるイベントが行われる。

そしてライブコンサートでは「GIRL NEXT DOOR」が出演する。

去年のライブは平日に行われていたが、

ネットなどで休日にライブをして欲しいなどの要望が多数あったので
今年は土曜日にライブコンサートを行うことに。さらに来場者が見込める。

また、ライブチケットは普通のライブに比べると格段と安い。

是非この機会に足を運んでいただきたい。

最終日の31日(日)は、大学祭実行委員会1回生による「1回生企画」、

「吉本無料ライブ」ではR-1で優勝した「中山功太」や「女と男」「見取り図」が出演する。

「留学生フェスティバル」では各国の留学生が民族舞踊や歌を披露し、

「ララミュージック」では数組のバンドが生演奏をする。

人気イベント「カラオケ」は毎年多数の参加希望者が続出していたので
今年は増量バージョンとして帰ってくる。

ダンスパーティーでは、DJが曲を流し自由参加で毎年盛り上がっている。

阪駒祭の最後を飾る「特別企画」では音楽に合わせたレーザーショーを行い、
最後の盛り上がりを見せ閉会式となる。

16号館横ではフリーマーケットが連日開催され、

本館1階ロビーでは茶華道部によるイベント、3・4階では経済学部公開ゼミナールなど

その他にも沢山のイベントを行っている。

また、5号館や9号館では、各クラブの展示やプロジェクト共育の展示及び

パフォーマンスが行われ、各クラブ・サークル・プロジェクトなどの模擬店が多数出店している。



BES

大和乃侍・瓏連者



KID-RYO

卒業生の
皆様へ

第3回

ホームカミングデー開催!

恒例のホームカミングデーを、阪駒祭開催中の10月30日に開催いたします。一日だけですが、同級生や先輩、後輩そしてご家族と共に、秋の母校を満喫してみませんか?



■日 時: 10月30日(土) 11:00~14:30

■場 所: 大阪産業大学中央キャンパス

■イベント: 懇親会(お楽しみ抽選会・名刺交換会など)・大産大の歴史展・学部学科の紹介・入試相談コーナー・キャンパスツアー(事前に申し込みが必要)など

■詳細はホームページでご確認ください。

<http://www.osaka-sandai.ac.jp/hcd/index.html>

キャンパスセラピー

⑨

今、この原稿はイギリスで書いてます。こちらにやってきて、思ったことを少し書いてみたいと思います。もともと欧米に対しては明治時代以来日本がずっと追いつけてきた国のせいなのか、妙に劣等感のような感覚があるようです。特にぼくより上の世代はそれがひどいのかもしれません。逆にその劣等感をバネにして、偉くなった人が多いのかもしれません。夏目漱石だって、ロンドンに留学してた時は、ほとんどノイローゼみたいな状態だったんですよ。

でもね、白洲次郎という日本人は違ったようです。敗戦で日本人全体が欧米への劣等感に打ちのめされて、特に占領国であるアメリカ人に対してはカラッきし意気地がなくなっていまい、ヘラヘラするしかなかった頃、一人だけ毅然としてプリンシプル、つまり建前を通した人が白洲次郎だったんです。占領軍のアメリカ人将校に白洲次郎が「あなたは、なかなか英語がお上手ですな」と言われた時、彼は「あなたも、もっと勉強すれば英語がうくなりますよ」と返したそうです。ネイティブに対して、英語では外国人である彼が、何故そんなに高飛車な態度に出られたのでしょうか。

外国アレルギー



イギリスの公園でみつけたピアノ。誰でも弾いていらしい。ピアノの腕自慢が順番を待っているのはお国柄か？

か。もちろん負けず嫌いという性格もあったのだと思いますが、どうも彼の経歴と関係が深いようです。夏目漱石は東大出でしたがイギリスに来ると誰も東大なんて知りませんし、時代が時代だから、どこの馬の骨が分からんみたいな扱われ方をしたようです。で、ノイローゼになった？ いや真相は分かりませんが、白洲次郎はといえばヤンチャで勉強はあまり出来のいいほうではなかったんです。でも子供の頃から家に外国人が日常的にやってくるし、普通に英語をしゃべるような家だったようです。これってかなり珍しいですが、彼の家は商売人でかなり金持ちだったようです。それで結局ケンブリッジ大学で勉強するこ

とになるのですが、イギリスの貴族階級の子弟と親交を結んで楽しい学生生活をおくったようです。漱石さんとは雲泥の差ですよ、同じイギリスなのに……。

さて、最近の若い学生をみると欧米への劣等感はいくらより少ないように思います。構えず自然体で外国人と話していく姿をみると、羨ましい気がします。ただ、ひとつ言いたいのは、外国アレルギーは治ってきてますが、ハングリー精神というか負けじ魂が欠けてきているように思うのはぼくのヒガミかなあ？

文化コミュニケーション学科教授
ながわ中之島クリニック院長
中川 晶

編集後記

本山美彦新学長が誕生しました。早速、学生2人にインタビューをしてもらいました。新学長は学生を前に、大学の理想像を熱く語りかけました。「人生の99%はスランプの連続だ」「それを隠す必要はない。それを周囲に訴えて」「生身の人間である教員に直接指導を受け、自分の考えを聞いてもらう」「学びを通して心の師を得られる大学に」と、師弟が共感できる大学作りを掲げました。インタビューは1時間を超える長時間に及んだそうです。学生にとってコミュニケーション力が大事と説く新学長は、学生とのコミュニケーションを楽しむように大阪産業大学の未来図をしっかりと描いてくれました▽いよいよ3回生の就職活動がスタートします。「就職活動ってどうするの」という疑問に答える就職活動フルコース実録を体験者に書いてもらいました。キャリアセンターに選んでもらった4回生男女学生と短大2回生の実体験です。なるべく詳しく具体的に記録してもらいました。失敗や反省も含め就職が決まるまでの過程がよくわかります。参考にしてください。一方、内定していない4回生は秋の就職活動に挑戦します。秋採用を検討している企業の情報もキャリアセン

ターに届いています。厳しくて長い就職活動ですが、へこたれずにがんばれ！▽大阪産業大学の学生は男女ともカジュアル系ファッションを好んで身に着けているそうです。私の授業(情報社会論)で4人の学生が産大生のファッション感覚を調査しました。4回生の男子2人女子2人のグループ。学内で104人の学生にアンケート調査。当初予想していた以上に学生たちがファッションに高い関心を持っていることに驚いていました。男子学生の約7割が「ファッションに関心がある」と答えたのですから。アンケート用紙を見せてもらおうと「好きなブランド」に16ものブランド名を書き込んだ関心の高い男子学生がいました。その一方で「関心がない」という学生もしっかりと存在していました。昔は「バンカラ(風采、言動が粗野な)学生」が大学内を闊歩していたものですが、調査した学生が「バンカラって何ですか」ときょとんとしていたのにはショックを受けてしまいました。今は昔です。授業の中の実習のレポートですが、こうした調査は前例がないとか。皆さんに関心を持ってもらえそうな内容なので、NeOSUに掲載させていただきました。(編集長・山名康弘)